

12/22（日）第1回光免疫療法研究会開催

於：東京マリオットホテル（東京都品川区）

光免疫療法の未来がここに集結！

【本件のポイント】

- 同療法開発者 小林 久隆 特別教授（米国立衛生研究所・
関西医科大学附属光免疫医学研究所所長） 発起人
- 国際医療福祉大学 鈴木 康裕 学長 特別講演
- 基礎および臨床の最新知見を包括的に情報交換

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・木梨達雄）附属光免疫医学研究所小林久隆所長・特別教授が発起人、附属光免疫医学研究所花岡宏史副所長（基盤開発部門部門長）が代表世話人兼事務局長となり、2024年12月22日（日）、東京マリオットホテル（東京都品川区）において「第1回光免疫療法研究会」を開催いたします。光免疫療法は、超特異的ながん細胞の破壊と体のがん免疫の活性化を同時に実現する、従来のがん治療とは一線を画す革新的な治療法です。既に日本国内では、頭頸部がんに対して保険適用での治療が承認され、130以上の病院で実施されています。この技術は、がん以外の疾患にも応用可能で、未来の医療に革命をもたらすと期待されています。

世界の研究者が集うこの機会

光免疫療法に関する研究は、基礎化学から臨床応用に至るまで、世界中で進められていますが、臨床段階での知見を詳しく論じる場は現時点では日本だけです。この研究会では、「分子レベルの研究」「基礎生物学」「がん」「感染症を含む非がん疾患」「実臨床」と、多岐にわたる領域の研究者が一堂に会し、光免疫療法に関する情報を包括的に交換する貴重な機会となります。

研究会の主なセッション内容：

- ・「新規 IR700 合成に関する基礎化学の理論と開発」
- ・「前臨床としてのがん」
- ・「がん免疫」
- ・「非がん疾患に対する応用の可能性」
- ・「臨床直前研究として治験に進むための資金獲得ができた新規疾患への適応や既存薬の適応拡大および

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・林）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



び許可されたアキラルックス後の第2,3抗体創薬」

- ・「現在の頭頸部がんの臨床結果と問題点」等

アカデミックな環境での開催

研究会は、企業からの共催を受けず、完全なアカデミック開催として行われます。これにより、臨床・研究・開発の各グループ間で利益相反を心配することなく、自由に情報交換が行えます。

今後の展望と支援

今回の研究会は、次年度以降の「光免疫療法学会（仮称）」の開催を視野に入れての活動です。また、研究会の開催支援は、「NPO 法人 光免疫療法支援研究会 <http://photoimmunotherapy.or.jp>」を主として実施されます。

イベント詳細

日時	2024年12月22日（日）午前9時半～ （受付；午前8時半～／開場；午前9時～）
場所	東京マリオットホテル ザ・ゴテンヤマボールルーム（B1） 〒140-0001 東京都品川区北品川4丁目7-36
公式ウェブサイト	光免疫療法研究会 http://nirpit.kenkyukai.jp/

最新情報や参加登録については、公式ウェブサイトをご覧ください。

右のQRコードからもアクセス可能です。

なお、ウェブサイトは日本語専用となっておりますのでご了承ください。

光免疫療法の未来を切り拓くこの重要な機会をお見逃しなく。

皆さまのご参加をお待ちしております。



詳細なプログラムは次頁以降の別添資料をご覧ください。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（佐脇・林）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

第1回 光免疫療法研究会

2024年12月22日(日) 東京マリオットホテル (東京都品川区)

8:30 受付開始

9:00 開場

9:30 開会の辞 代表世話人兼事務局長:花岡 宏史

9:30 セッションⅠー化学

座長 小川 美香子 北海道大学大学院 薬学研究院 生体分析化学研究室

① 「光免疫療法の治療メカニズム～光化学反応の観点から～」

小川 美香子 北海道大学大学院 薬学研究院 生体分析化学研究室

② 「軸配位子置換—対称シリコンフタロシアニンの光免疫療法における有用性」

山次 健三 千葉大学大学院 薬学研究院

③ 「光免疫療法用 IR700 類縁体の開発と成人 T 細胞白血病/リンパ腫への応用」

花岡 健二郎 慶應義塾大学 薬学部・大学院薬学研究科 創薬分析化学講座

④ 「様々なリンカー構造をもつ新規 IR700 誘導体の合成と光免疫療法における細胞障害性の評価」

高倉 栄男 関西医科大学 附属光免疫医学研究所

10:30 Coffee Break

10:50 セッションⅡー前臨床研究

座長 光永 真人 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科

① 「光免疫療法を活用した病原体制御法の開発」

光永 真人 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科

② 「がん細胞を標的とした光免疫療法の新規開発:さらなる適応拡大に向けて」

福島 啓司 東京医科歯科大学* 医学部 腎泌尿器外科学

③ 「光免疫療法を用いた癌関連線維芽細胞を標的とした新規がん治療法開発」

野間 和広 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 消化器外科学

④ 「新規膀胱がん幹細胞マーカーの発見と光免疫療法による治療法の開発」

中山 敬一 東京医科歯科大学* 高等研究院 卓越研究部門 制がんストラテジー研究室

11:50 Lunch Break



参加登録は QR コードから

お願いいたします

12:30 セッションⅢー臨床結果・治療計画

座長 朝蔭 孝宏 東京医科歯科大学*医学部 頭頸部外科学

- ① 「頭頸部アルミノックス治療の現況と今後の展望」
平野 滋 京都市立医科大学 大学院医学研究科
- ② 「上咽頭癌再発遺残に対するアルミノックス治療～日本から上咽頭癌治療を変える～」
篠崎 剛 国立がん研究センター東病院 頭頸部外科
- ③ 「いかに光をとどけるか？ - 高精度近赤外光照射の取り組み」
鈴木 崇祥 北海道大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科
- ④ 「光免疫療法におけるIVRの役割」
曾根 美雪 国立がん研究センター中央病院 放射線診断科

13:30 Coffee Break

13:50 特別講演「光免疫療法:パラダイムシフトに向けたロードマップ」

座長 小林 久隆 アメリカ国立衛生研究所/国立がん研究所・関西医科大学

鈴木 康裕 国際医療福祉大学 学長

14:20 セッションⅣー臨床前研究・創薬

座長 小林 久隆 アメリカ国立衛生研究所/国立がん研究所・関西医科大学

- ① 「胸膜中皮腫に対する光免疫療法の適応」
松本 成司 兵庫医科大学 呼吸器外科
- ② 「リンパ管腫(嚢胞状リンパ管奇形)への挑戦」
藤野 明浩 慶應義塾大学医学部 小児外科
- ③ 「制御性T細胞を標的とした光免疫療法」
岡田 隆平 東京医科歯科大学*医学部 頭頸部外科

15:20 Coffee Break

15:40 セッションⅤーデバイス開発

座長 花岡 宏史 関西医科大学 附属光免疫医学研究所

- ① 「光免疫療法に資するデバイスの開発」
花岡 宏史 関西医科大学 附属光免疫医学研究所
- ② 「近赤外線カメラシステムを用いた光免疫治療の蛍光イメージング評価(PIT Quest 研究)」
田中 英基 東京医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- ③ 「頭頸部アルミノックス治療における蛍光イメージング装置を用いたリアルタイム薬物動態の検討」
上田 勉 広島大学大学院 医系科学研究科 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学研究室
- ④ 「内視鏡を用いた光免疫療法の応用」
長屋 匡信 信州大学医学部附属病院 内視鏡センター

16:30 Coffee Break(Snack)

17:30 閉会の辞 発起人:小林 久隆

※東京医科歯科大学は2024年10月1日より東京科学大学に名称が変わります

2024年9月10日現在